

第1回鎌ヶ谷市地域福祉計画策定委員会 会議録

<p style="text-align: center;">開催日時</p> <p>平成23年2月16日（水） 10時00分から 11時30分まで</p> <p style="text-align: center;">場所</p> <p>総合福祉保健センター 4階 会議室</p>	<p style="text-align: center;">出席者</p> <p>鈴木秀承委員 山田ルミ子委員 松村幸江委員 小林数夫委員 中野 洪委員 高橋 寛委員 山本幸子委員 鈴木 操委員</p>	<p style="text-align: center;">事務局出席者</p> <p>課長 田中延佳 渡邊忠明 會澤 修</p>
<p style="text-align: center;">欠席者</p> <p>堀江直茂委員 川村浩幸委員 鮫島 亘委員 下谷喜作委員</p>		
<p>〈議題〉</p> <p>(1) 会議の公開・非公開について (2) 会長及び副会長について (3) 議事録署名人の選出について (4) 鎌ヶ谷市地域福祉計画について (5) 検討事項について (6) その他</p>		

〈会議内容〉

発言者	発言・質問・回答の要旨（要点筆記）
	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付式</p> <p>(1) 委嘱状交付 (2) 市長の挨拶 (3) 委員の自己紹介、事務局の自己紹介</p> <p>3. 地域福祉計画策定委員会の開会</p> <p>議題(1) 会議の公開・非公開について</p> <p>会議の原則公開については異議なく承認された。 傍聴人については、本日なし。</p> <p>議題(2) 会長及び副会長の選出</p> <p>会長については、鈴木操委員より鈴木秀承委員の推薦があり、異議なく承認された。 副会長については、鈴木秀承委員より鈴木操委員の推薦があり、異議なく承認された。</p> <p>《議長の交代》 仮議長の田中課長から、鈴木会長に議長を交代</p>

鈴木会長	<p>《鈴木会長挨拶》</p>
鈴木会長	<p>議題(3) 議事録署名人の選出について</p> <p>議事録署名人については、他の会議で行われている方法として、名簿順で指名していくことがあるが、この会議でも名簿順でよいか。</p> <p>また、議事録については要点筆記でよいか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
鈴木会長	<p>では議事録署名人は山田委員及び松村委員とし、議事録は要点筆記とすることに決定する。</p>
鈴木会長 事務局	<p>議題(4) 鎌ヶ谷市地域福祉計画について</p> <p>次の議題である「鎌ヶ谷市地域福祉計画」について、事務局の説明を求める。</p> <p>「鎌ヶ谷市地域福祉計画」について説明を行う。</p>
鈴木会長 山本委員 事務局	<p>今の質問に意見等はあるか。</p> <p>地域福祉に対する地域住民の意識改革をどのように行ってきたか。</p> <p>この計画は、総括規定の計画であり、この下、各課で各分野の計画を推進しているところである。その中で重要となるのが、社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」である。</p>
鈴木会長	<p>また地域福祉計画は、計画を作ることが目的ではなく、目指すところは市民の意識付けが目的である。従って、今回の見直しでは、計画の基本軸は変えないで、現状と整合のとれない部分の変更を中心に見直しを図る予定である。</p> <p>他に意見はあるか。なければ次の議題に移りたい。</p>
鈴木会長 事務局	<p>議題(5) 検討事項について</p> <p>次の議題である「検討事項」について、事務局の説明を求める。</p> <p>「検討事項」について説明を行う。</p>
鈴木会長 高橋委員 事務局	<p>今の質問に意見等はあるか。</p> <p>鎌ヶ谷市で高齢者の調査で85歳以上の方を調査しているが、これは、何歳以上を調べなさいという国の基準が示されているのか。</p> <p>指示はきていないが、担当課に確認したわけではないので正確な回答はできない。</p>
高橋委員 鈴木委員 中野委員 事務局	<p>今回の中沢の事件を考えると70歳以上の高齢者を調査すべきではないか。</p> <p>市としては、4月以降に75歳以上の高齢者を調査していく予定である。</p> <p>この計画の見直しを2年間で詰めていくということであるが、どのようなスケジュールになっているのか。</p> <p>資料5によりスケジュールを説明。</p>
中野委員	<p>前回の策定時の反省として、前回は17回策定会議を実施したが、テーマが大きすぎてまとまりがなかった。</p> <p>今回もこの課題が、短期間で詰めることが可能か疑問である。せつかく改定するのであれば、達成が可能なものとしなければならない。このスケジュールで可能か。</p>
事務局	<p>中野委員のご指摘は想定されるものである。</p> <p>計画の基本軸は変更せず、提起している課題について検討し、まとめていく予</p>

	<p>定であるので、なんとか可能ではないかと考える。</p> <p>ただ、議論を進める中で、会議の回数が増え、時間がかかるのは当然のことと考えているので、必要であれば議論の回数が増えることはそれでよいと考える。</p>
中野委員	<p>現計画もそうであるが、もっと市民に周知し、認知される必要がある。</p> <p>計画ができて、しっかりと周知されないと無意味なものとなり、計画がうまく推進されない。</p>
事務局	<p>市として周知に欠けていたのは事実であると思う。</p> <p>今後改訂した計画をどう扱うかは、社協などと連携して検討をし、計画を推進していきたいと考える。</p>
高橋委員	<p>また、現在推進中である社協の「地域福祉活動計画」や地区社協の活動をバックアップするような内容を明記していけば、短期間での改訂も可能と考える。</p> <p>基本的な変更がないということは了解した。</p> <p>ただ市民が実行可能な計画でないという意味がない。また、計画上の支えあいセンターと地区社会福祉協議会の役割において明確でない部分が現実問題として存在する。</p>
鈴木会長	<p>今後は、地区社会福祉協議会にパート職員だけでなく専門職を配置するなど、社会福祉協議会を中心に地域福祉を展開していく必要があるのではないかと。</p> <p>計画策定後に、国による地域包括支援センターが設置され、この計画の施策として展開していく地域支えあいセンターの機能が地域包括に移行し、支えあいセンターの役割があいまいとなってしまった。</p>
事務局	<p>このあたりを改訂していくのが今回の見直しの中心になるのではないかと思います。</p>
鈴木会長	<p>そのとおりである。</p> <p>事務局から説明のあったとおり、現実に沿った地域福祉計画にしていくことが今回の目的となるようである。</p>
事務局	<p>地区社会福祉協議会を中心に地域福祉を推進していく計画に見直したいというのが趣旨である。</p>
中野委員	<p>地域包括支援センターの情報は、計画策定時にもあった。計画策定時には、地域包括を想定したものとして地域支えあいセンターを設置したものと思われる。</p> <p>また、計画の中で、地区社会福祉協議会の役割が明記されていないので、明記していく見直しは必要かと考える。</p>
高橋委員	<p>自主防災組織の会長を務めているので、自主防災組織の事で例にとると、組織の立ち上げから実際の組織作りにおける行政側の動きが悪いように思う。</p> <p>実際の行動は、組織が行うにしても、その組織づくりまでは行政が積極的に介入していただかないと機能しない。</p>
事務局	<p>この地域福祉計画に追記する災害時要援護者対策もそうであるが、行政内部の連携も計画を推進していくには必要である。</p> <p>今回の改訂作業には、安全対策課や社会福祉協議会なども参加していただき、庁内会議を立ち上げ検討を行っている。</p>
鈴木会長	<p>資料4の「現状と課題」のテーマを中心に見直しを図ることとしているので、このあたりの議論をお願いしたい。</p>
小林委員	<p>地域包括支援センターは、この計画に明記しなくてよいのか。</p>
事務局	<p>そのような意見も含めてこの会議で検討願いたい。</p>

松村委員	災害時要援護者対策を例にとると、要援護者対策の中で地域支えあいセンターと地区社会福祉協議会など各事業者同士の役割も明記できたものとした方が良いと考える。
鈴木会長	地域包括や支えあいセンターができてからかなり状況が変化してきており、その中で地域の見守りが行われている状況もある。 この地域福祉計画が策定されてから状況も変化してきているため、必ずしも計画と現状が整合しているとは言い難い面もあるので、松村委員のような要望も含めて検討していきたいと考える。
鈴木会長 事務局	「その他」として事務局何かありますか。 各委員の意見提出、報償の支払い依頼及び次回の会議を平成23年3月28日（月）午後1時30分からとする。
鈴木会長	意見がなければ、以上で本日の会議を終了する。
4. 閉会	

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成23年3月7日

署名人 松村 幸江

署名人 山田 ルミ子